

広報

No. 196

くらみ

平成元年10月15日

発行・編集 国見町企画課

奥州合戦八百年祭 イベントいざ出陣！	2～3
グラフで見る昭和63年度決算	4～6
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8～9
公民館だより	10～11
わだい	12



(写真提供：鈴木写真商会 鈴木重男氏)

奥州合戦から 八百年

'89 10月

今年には1189年（治5年）に全国統一をめざした源頼朝の率いる鎌倉軍と奥州（現在の東北地方）を支配していた藤原軍との間で、激戦がくり広げられた奥州合戦から、ちょうど八百年目にあたります。

この写真は、当時の合戦の様相を県北中学校美術クラブの生徒が壁画に再現したもので、奥州合戦八百年祭のポスターにも採用されました。

奥州合戦八百年祭 イベント

10/29~11/5

武者行列・歩行者天国・企画展

いざ出陣!

奥州合戦から今年でちょうど八百年となるのを記念し、奥州合戦八百年記念会、奥州合戦八百年祭実行委員会が、今春から計画を進めてきた「奥州合戦八百年祭」のメインイベントが間近に迫りました。

八百年祭のメインは十月二十九日に行われる「義経まつり武者行列」。この行列には静御前を含む正式行列のほか、町内各小学校児童鼓笛隊、手づくり甲冑姿の県北中生など総勢約九百名が、藤田中心街を練り歩き、藤田小学校校庭では、ほら貝の鳴り響く中、勇壮な模擬合戦を披露します。

また、当日は藤田中心街約五百メートルを歩行者天国とし、ミニS1弁慶号運行、わんこそば大喰コンテスト、大声コンテスト、ジュース早飲みコンテストをはじめとした楽しいコンテストの開催、美味模擬店の出店など多彩なイベントを催します。

さらに、十月二十九日から十一月五日までは奥州合戦八百年記念企画展を開催し、県立博物館所蔵の「赤糸威大鎧」の展示、阿津賀志山防壁のパノラマ模型などを展示します。

ぜひ、町民多数の皆さんお誘い合わせのうえ、ご来場、ご鑑賞をお願いします。



▲今年5月3日に行われた若手県平泉町の義経公東下り

義経まつり

武者行列

10月29日(日)藤田中心街

○出陣式

午後1時30分
福祉センター広場

○模擬合戦

午後3時
福祉センター広場

○梯陣式

午後5時
福祉センター広場

○武者行列順序

①町内各小学校児童鼓笛隊

②手づくり甲冑隊(県北中生徒)

③正式武者行列

〈義経まつり武者行列通過予定時刻〉

往路 福祉センター広場→つくだや酒店前→新叶屋菓子店前→役場→藤田小学校
13:50 14:00 14:20 14:30 14:40

復路 藤田小学校→新叶屋菓子店前→商工会前→ホームセンターゴトー→福祉センター広場
15:30 15:40 16:00 16:10 16:20

※通過予定時刻は、都合により若干変更になる場合があります。

奥州合戦八百年記念 企画展

10月29日(日)～11月5日(日)
国見町福祉センター 講堂

○鎧の展示

福島県立博物館に常設展示されている「赤糸威大鎧」を展示。

○防壁模型の展示

町内和紙人形クラブ・日本面クラブ・町郷土史研究会が共同で製作した阿津賀志山防壁のパノラマ模型を展示。

○写真パネルの展示

町文化財保護審議会が取材した東北各地に残る関連遺跡の写真を展示。

奥州合戦八百年記念

農業祭

10月29日(日)午前8時45分～
国見町農協前庭

国見町農業祭実行委員会では、もちつき大会、鯉の釣堀、農産物直売など楽しい催し物を準備して、皆さんのご来場をお待ちしております。

○農産物品評会及び展示即売

○鯉の釣堀

午前9時から

○もちつき大会

午前10時、11時、午後1時

○カラオケ大会

午前10時30分(先着20名)

あなたも参加しませんか 楽しいイベント案内 (10月29日)

ミニSL 弁慶号運行

時間 10:00~17:00

場所 商工会前

※武者行列通過中は休みます。

わんこそば大喰コンテスト

時間 14:30~16:30

場所 熊谷医院前

先着 100名

大声コンテスト

時間 15:30~17:00

場所 村上医院前

先着 100名

ビール早飲みコンテスト

時間 12:30~14:00

場所 沢屋酒店前

先着 100名

ジュース早飲みコンテスト

時間 15:30~16:30

場所 藤田郵便局前

先着 200名

美味模擬店

時間 10:00~17:00

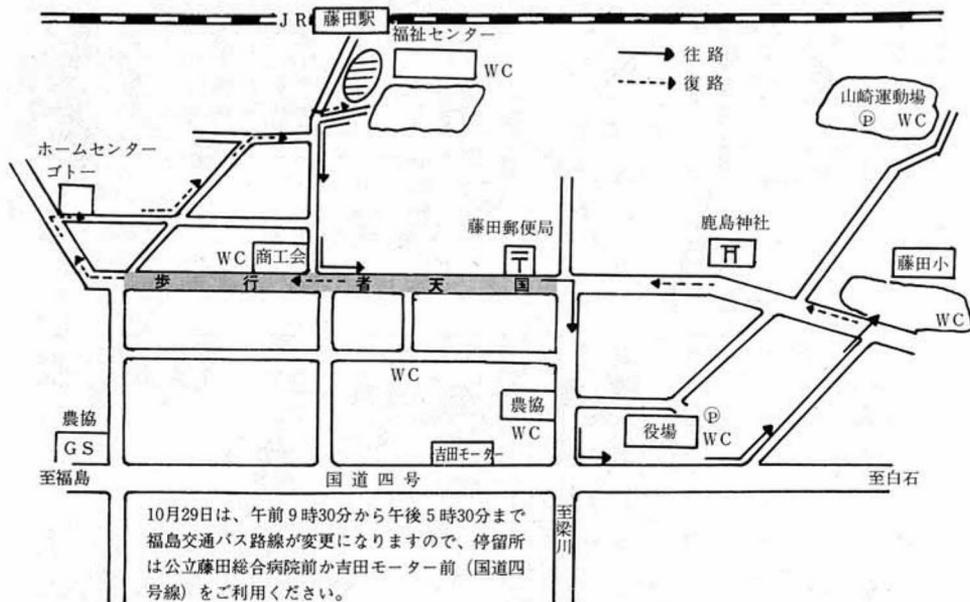
場所 福信国見支店駐車場

やきとり・おでんほか

※イベント参加はすべて無料です

※各コンテスト上位入賞者には記念トロフィー進呈

〈武者行列行程および駐車場案内図〉



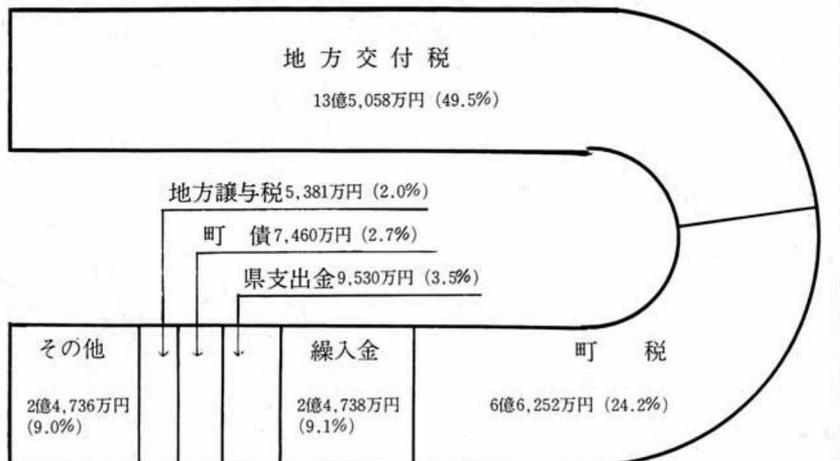
駐車場

- 国見町役場
 - 山崎運動場
 - 生協国見店
 - 公立藤田総合病院
 - 国見電子
 - 睦商会
- ※山崎運動場から農協までは、無料バスがピストン輸送いたします。

度決算 (一般会計)

歳 入

二十七億三千百五十五万円



町税の内訳



昭和63年度決算報告

9月定例議会で、昭和63年度一般会計と特別会計の決算が認定されました。決算とは一定期間内における収入および支出の総実績を明らかにすることで、町民の皆さんが納めた税金はいくらか、その税金はどのように使われてたのか、そのあらましを見てみましょう。

63年度の一般会計の決算額は、歳入が27億3,154万8千円、歳出が26億6,022万9千円です。実質収入額7,131万9千円から地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額3,600万円を差引いた額(3,531万9千円)が平成元年度へ繰越されました。

昭和63年度の当初予算額 23億1,000万円に対し、決算額が27億3,154万8千円になったのですから、約18%の伸びということになります。

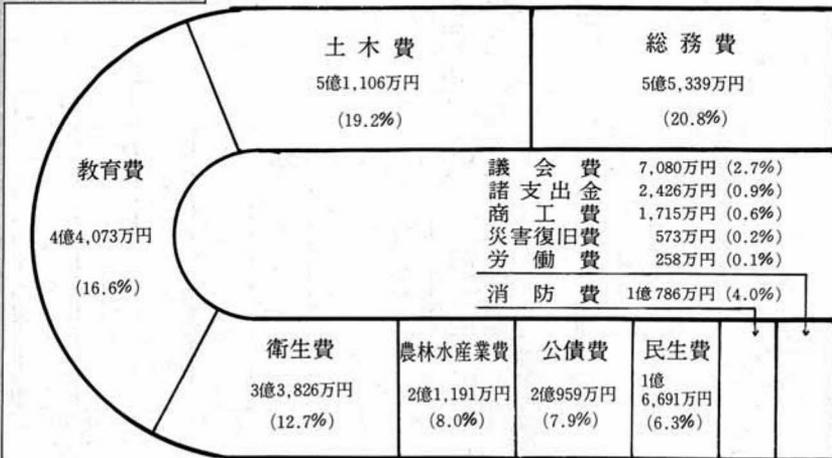
<p>たばこ消費税</p> <p>4,367円 (4,471円)</p>	<p>町民税</p> <p>22,812円 (22,677円)</p>	<p>固定資産税</p> <p>24,020円 (22,753円)</p>	<p>1人当りでは</p> <p>入ってくるお金や使われるお金を、町民一人当りで割ってみるとどうなるでしょう。(一般会計の場合)</p> <p>()内の数字は昨年度。(人口は、62年3月31日=12,181人、63年3月31日=12,103人)</p>
<p>特別土地保有税</p> <p>101円 (40円)</p>	<p>軽自動車税</p> <p>954円 (900円)</p>	<p>電気税</p> <p>2,486円 (2,503円)</p>	

歳入

二十六億六千二十三万円

歳 出

グラフで見る 昭和63年



特別会計決算

- | | | |
|---|---|------------------------------------|
| ○国民健康保険特別会計
歳入 7億3,170万円
歳出 6億4,432万円 | ○公共下水道事業特別会計
歳入 7,842万円
歳出 7,739万円 | ○藤田財産区特別会計
歳入 486万円
歳出 482万円 |
| ○老人保健特別会計
歳入 5億1,705万円
歳出 4億7,800万円 | ○渇水対策施設特別会計
歳入 3,498万円
歳出 2,294万円 | ○大木戸財産区特別会計
歳入 35万円
歳出 8万円 |
| ○貝田簡易水道特別会計
歳入 1,705万円
歳出 1,629万円 | ○宮後住宅団地宅地分譲事業特別会計
歳入 3,045万円
歳出 3,045万円 | ○石母田財産区特別会計
歳入 34万円
歳出 29万円 |
| ○育英特別会計
歳入 556万円
歳出 549万円 | ○入山財産区特別会計
歳入 496万円
歳出 487万円 | |

<p>衛生費</p> <p>27,949円 (27,512円)</p>	<p>教育費</p> <p>36,414円 (31,791円)</p>	<p>土木費</p> <p>42,226円 (29,406円)</p>	<p>総務費</p> <p>45,723円 (27,310円)</p>	歳 出
<p>消防費</p> <p>8,912円 (8,671円)</p>	<p>民生費</p> <p>13,791円 (12,614円)</p>	<p>公債費</p> <p>17,317円 (18,447円)</p>	<p>農林水産業費</p> <p>17,509円 (16,160円)</p>	

ふるさとの文化財 66

福聚寺本尊 木造虚空蔵菩薩像

菊池利雄



▲虚空蔵菩薩像

国見町光明寺の福聚寺は、鎌倉時代中期伊達政依が曾祖母伊達朝宗夫人、結城氏の菩提を弔うために建立した「伊達五山の一つである、光明寺の塔中といわれる。

本尊は木造虚空蔵菩薩で、寄木造り（彫木を貼り集めて作る仏像）で、玉眼（「日本書紀」に「玉眼」として作られた）が嵌入、仏体は錆漆地。作製の年代は十四世紀後半の南北朝時代。鎌倉または京在住の仏師の作とされる。（中通り）

虚空蔵には、その广大無辺の功徳が虚空（大空）のように、大きいという意味である。この菩薩は奈良時代から智恵の仏として、慈悲の仏地藏菩薩と並んで、庶民に厚く信仰され、特に平安時代の末期にはその造像が盛んで、美しい女性的な菩薩像として表現されている。後世にはこの菩薩は美人の代名詞として用いられているほどである。（歴史散歩）

この仏像の解題については、先日この仏像の調査にあられた、福島県立博物館の主任学芸員若林繁氏の書かれた「中通り仏像」の解説に、若干の注を添えて読んでいただくことにする。髪を毛筋彫とし宝冠（宝冠）を戴く。耳朶（耳たぶ）は貫かない。右肩、右腕に福彩（平賀宗泰に依る）を右肩、納衣（物の穿）を覆い、右肩に少しかかる。左手屈臂（手を曲げて）して前に出し、蓮台上（蓮花座の宝珠（宝珠）をとる。右手屈臂して膝上（膝上）に置き、

剣をとる。左足を上にして結跏趺坐（正しく座り）する。

構造は、頭体幹部通して両耳後、体測を通る線で前後に二材を削ぎ、内割（内割の形を削ぎ）し、前部材は三道下（下部）で、後部材は標の線でそれぞれ頭部を割削ぐ。両肩より地付まで通して各一材を体測に削ぐ。脚部（足）は横に一材を削ぐ。裳先（はきもの袖口）を削ぐ。両手前膊（うで）袖口部をそれぞれ削ぐが、これは後補（修した）である。

当時はもとの付近にあった伊達政依（伊達朝宗の曾孫）が定めた五箇寺（福聚寺、伊達五山）の一つ、光明寺の塔中（ある寺の塔の中）（一八一九年）で戦功をあげ、伊達郡を賜わった伊達朝宗（法名 龍壽寺浄光）の室（室）の墓（墓）の墓があり、この墓を守る寺として続いたといわれる。この像は当時の本尊である。繊細な表情に、衣文（衣服の）の彫出は浅くなっているが、脚部にはなおおねるような衣文表現が見られる。

※会津若松市の県立博物館では9月22日より11月26日まで「中通りの仏像展」が開催されている。福聚寺の木造虚空蔵菩薩坐像も出展されており、御観覧を願えば幸いです。

国保コーナー

医療費節約のための心がけ

①家族ぐるみで健康づくりを
健康な家庭に病気は寄りつきません。何かからだにいいことを。



②早期発見・早期治療を
健康診断などは積極的に受けましょう。

③ハシゴ受診はやめよう
検査、処置、注射、薬などをやり直すために、医療費のムダ使いとなります。



④診療時間内に受診を
急病の場合にはともかく、時間外は加算料金がつかしく、医師の負担にもなります。

⑤薬ねだりはやめよう

やたらにねだる、指示どおりに飲まない、いずれも医療費のムダ使いとなります。



● 保険証の更新はお済みですか

国民健康保険被保険者証（国民健康保険証）が更新され、10月1日から新しい保険証となりました。

今まで大学生の方などに交付されていた保険証と、出稼ぎの方などに交付されていた保険証の有効期限も、9月30日で切れました。

今後も引き続き、保険証の交付を受けたい方は、新たに申請書提出していただく必要があります。

申請には、新しい保険証、印鑑、今まで交付されている保険証をまだ返納していない方は保険証を持参の上、保健課国保係においでください。

なお、保険証を受けようとする方で、今年4月以降に学証明書を出していない方は、在学証明書を添付していただくようになります。



ねたきり老人

家庭看護法講習会

日赤福島県支部から講師を迎え、ねたきり老人家庭看護法講習会を開催いたしますので、ねたきり老人をかかえておられる方などお気軽においでください。

◇日時

十月二十五日(水) 二日間
十一月八日(水)

◇場所

国見町福祉センター老人子ど

※講習料は無料です。詳しくは、国見町公民館(☎八五二二六七)までお問い合わせください。

テレビ・ラジオの電波障害防止にご協力を



十月は「電波障害一掃月間」です。

電波は目には見えませんが、テレビやラジオの放送・通信などに利用される。私たちの生活に欠かせないものとなっている。電気機器の使用技術、取り付け技術の不備、不良製品の使用などにより電波障害が発生します。

また、ビルなどの建造物によっても電波障害が発生します。電波障害が発生したら障害原因を調査し、電波障害をなくしましょう。

電波障害に関するお問い合わせは、福島県電波障害防止協議会へ。

福島市北五老内町一―五
NHK福島放送局内
☎三五一一九一

労働保険の加入は

おすすめですか

労働保険(労災保険、雇用保険)は、労働者が労働災害や失業などの保険事故のとき必要な保険給付を行い、生活の安定・社会復帰の促進・再就職の促進などを図ることを目的とした制度で、労働者一人以上使用していれば加入しなければなりません。

まだ手続きがお済みでない事業主の方は最寄りの労働基準監

督署・公共職業安定所にお出掛ください。

福島労働基準局
福島県商工労働部

標準小作料は

ご存知ですか?

国見町農業委員会では、農地を借りて耕作する場合の小作料の基準となる「標準小作料」を次のように定めております。

区 分	標準小作料
ほ場整備地区全域及び平坦部で10ア	三万二千元
10ア当り収量540kg程度	当り収量540kg程度
10ア当り収量510kg程度	二万七千元
10ア当り収量450kg程度	二万一千元

◇平成四年度まで適用。
◇10ア当り450kg以下の田および畑については定めていない。

標準小作料についてのご照会、ご相談は農業委員会事務局まで(☎八五二二二一―内線二三三四)

ご存知ですか?

医薬品副作用被害救済制度

医薬品は、人の健康の保持増進に欠かせないものですが、その使用に当たって万全の注意を

払ってもなお副作用の発生を防止できない場合があります。

医薬品を適正に使用したにもかかわらず副作用による健康被害(入院を必要とする程度の疾病又は障害、死亡)が発生した場合に、医療費、医療手当、障害年金、障害児養育年金、遺族年金、遺族一時金、葬祭料の諸給付を行い、これにより被害者の救済を図ろうとするのが、この救済制度です。

制度の仕組みを解説したパンフレット及び請求用紙、詳しいお問い合わせは、〒170東京都豊島区東池袋三―一―、サンシャイン60「医薬品副作用被害救済・研究振興基金総務部企画課相談係」(☎〇三一九八八―一〇一)まで。

違反建築をなくしましょう!

10月11日から17日までの一週間、建設省、福島県では町や関係団体の協力を得て、違反建築防止週間を実施します。

この週間の目的は、良好な市街地の環境が形成されるよう、また個々の建築物の安全性が確保されるよう理解を深めていただくことです。

みんなで注意して違反建築をなくしましょう。

農地違反転用をなくしましょう

今月は「農地違反転用防止強化月間」です。これは、農地を無断で転用したり、許可内容に違反する転用の未然防止と早期発見に努め、農地法の適正履行を確保することを目的としています。

農地を農地以外の用途、住宅地、駐車場をはじめ、資材置場や道路、山林などに許可なく無断で転用することはできません。農地は優良農地の保全と有効利用の観点から、農地法によって他の用途に転用することが規制されています。

農地を転用するには、一定条件のもと、果知事等の許可が必要となります。許可なく転用すると、もとの農地に復元させられるなど、厳しい措置がとられます。

農地のことは、安易に考えたり、自分勝手に判断せず、お近くの農業委員、又は町農業委員会に相談して下さい。

優良農地の確保と有効利用を進め、国見町から無断転用、違反転用をなくしましょう。詳しくは、農業委員会事務局(☎八五二二二一―内線二三三四)へお問い合わせください。

ストッパ

産業廃棄物の不法投棄

不法投棄

産業廃棄物は、法令の基準に従って適正に処理しなければなりません。が、産業廃棄物、特に建設工事現場から出るコンクリート破片・アスファルトくず・木くずなどの不法投棄は後を絶ちません。

また、最近では「土地を貸してもらえば、畑として使えるようにして返す」という甘い言葉に乗って土地を貸したところ、借地人が第三者からお金をとって産業廃棄物を捨てさせていたため、土地所有者が訴訟を起こしたという例や、別な名目で土地の貸借契約を結んだところ、実際には、土地所有者の知らないうちに産業廃棄物を入れた下

ラム缶などを多量に運び込み埋め立てた例など、土地の貸借にからんで土地所有者を巻き込んだ産業廃棄物の不法投棄事件が目立っています。

こうした産業廃棄物の不法投棄を未然に防止し、快適な生活環境を守るために町民みなさんのご協力をお願いします。もし、廃棄物の不法投棄現場を発見した場合は役場保健課へご連絡ください。

自衛官募集

防衛庁では陸・海・空の自衛官を募集しています。

○募集区分及び応募資格
二等陸・海・空士(男子)
十八歳以上二十五歳未満

○受付期間

平成二年三月末まで常時
手続きなど詳しくは、自衛隊

福島募集案内所(☎三一一五五二九)または役場住民課へお問い合わせください。

ご存知ですか?

事業主の退職金制度

「小規模企業共済制度」は、いわば国がつくった事業主の退職金制度です。事業主であるあなたが第一線を退いたときなどに、法律で定められた共済金が支払われます。掛金は全額所得控除となり、節税をしながら財産づくりのお役に立ちます。

この制度の詳しい内容は、国見町商工会(☎八五一二二八〇)にお問い合わせください。

青年海外協力隊募集説明会

資格

戸籍の窓口

(9月受付分)

出生おめでとうございます

子	名	保護者	町内会
英(いちえい)	新井	文英	柳北
衣(まゐ)	渡辺	一郎	江田
貴(ゆき)	中田	幸夫	徳石
沙(あさ)	松浦	幹夫	大木
里(みさと)	高橋	一博	高第
美(みや)	石川	正博	第第
慎(しん)	菊地	隆光	山
也(なつ)	八卷	重光	幸
涉(わた)	えみ	武田	
七(なな)	ゆみ		

結婚おめでとうございます

氏名	町内会
利子 永子	城北
信子 芳子	宮前
野子 悦子	大福

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	町内会
藤一郎	64	取城
浦ヨシエ	67	第一部
間トセツ	58	高第
戸コト	85	中原
木コノブ	78	山崎
藤九二	55	並板
村文男	76	第十一
藤正	55	
八	67	

人口と世帯

10月1日現在(前月比)9月中のうごき

男	5,744人(+5)	転入	25人
女	6,216人(+1)	転出	19人
口計	11,960人(+6)	出生	9人
世帯数	2,927戸(+3)	死亡	9人

今月の納税

十月は、町県民税・国民健康保険税(第三期)の納税の月です。

お忘れなく、納期内(十月三十一日まで)に納入しましょう。

二十歳から三十九歳までの青年男女
二年間

派遣期間

二年間

派遣職種

農林水産 加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツなど約百五十種

○説明会日時・場所
11月9日(木)
午後6時半から8時半まで
福島市市民会館

詳しくは、福島県県民生活課国際交流室(☎二二一一一一)にお問い合わせください。

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)

時間: 9時~12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

[相談員]

10月25日(水)	桜沢 正・山内 聡子
11月4日(土)	鈴木 正雄・牧野 容子
11月15日(水)	斎藤 光夫・築瀬 貞子



10月 神無月(かなづき)

11月 霜月(しもつき)

18日(水) 統計の日

1日(水) 灯台記念日

20日(金) えびす講

3日(金) 文化の日

23日(月) 電信電話記念日

7日(火) 立冬

26日(木) 原子力の日

11日(土) 税を知る週間

27日(金) 読書週間

15日(水) 七五三



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

就任の

ごあいさつ

社会教育指導員

北島 誠 偉



このたび、十月一日付をもって社会教育指導員をお引き受けすることになりました。

永年学校教育に携わって参りましたが、社会教育の面においては経験がありませんので、皆様方のご協力をいただきながら職務を全うしたいと存じます。

私の仕事は主に社会体育関係ですので皆様方の健康づくりや、スポーツ力向上のため精一杯努力したいと存じますのでよろしくお願致します。

奥の細道を

たずねて

安田 節子

秋を感じる九月十三日私達婦人学級生は、松尾芭蕉のゆかりの場所を尋ねて須賀川迄奥の細道旅行に出かけました。

元禄二年、今から三百年前、芭蕉が旅した地を逆とはいえたどりながら行く旅は何故かわくわくします。私も奥の細道の本をこわきに抱えてでかけました。奥の細道を読むと、小柄な芭蕉がとほととぎす音と旅を歩いている様子が浮かんできます。

須賀川市役所のそばの芭蕉記念館を尋ねました。須賀川の駅に鶉鴒というものを尋ねて四、五日とどめられると書いてあり、

「風流の はじめや奥の 田植うた」世の人の 見付けぬ花や 軒の葉の その句がびつたりする建物でした。そこには俳句の投稿箱もありましたが、てくてく歩いていない私は悲しいことに、「わび」も「さび」も思いつかばす一句で来たと言っている友の肩こしからのぞくばかり、インスタントラメンのようなわけにはいきません。

牡丹園の脇を少し行くと、乙字ヶ滝此の滝を見ながら芭蕉は

何を考えたのだろうか、当時の思いにひたりながら岩瀬農場に向いました。唱歌の「牧場の朝」のモデルになった所で園内は花に包まれて、時間をつげるかねの音と動物の姿が牧歌的でのんびりとした気分を味わえました。掃りは安達ヶ原を見学して、鬼婆が埋まっているという黒塚も見てきました。

旧四号線には松並木も見られ昔の様子が見えます。芭蕉と自然に浸って、明日から又頑張ろうと思った素敵ない日でした。



▲芭蕉記念館前で(須賀川市)

がんばったぞ!!

国見代表

第八回伊達地方スポーツ大会が、九月三日開催されました。当町代表は、硬式テニス(団

体)で三連勝するなど好成绩を収めました。成績は次の通り。

◇硬式テニス
団体戦 優勝 国見A(三連勝)
個人戦(ダブルス)
男子

準優勝 佐藤光之、高鶴光雄
女子

優勝 吉田まき子、野中ゆみ

◇バドミントン
団体 優勝(バドミントンクラブ)
男子個人 優勝 松浦 勇

◇剣道
団体 優勝(国見町剣友会)

◇バレーボール
六人制団体 準優勝(絵夢)

阿津賀志学級

研修旅行紀行

藤田 勝 衛

あぶくま洞には多くの方が行かれたと思いますが、私は今回が三回目です。初めに行った時は、その幻想の世界に圧倒されて一言もありませんでした。二

回目に行った時は、八千万年も経て自然に造られた鐘乳石や石筋に対し、何と言ったか色々好奇心に科学する気持ちになりました。今回行った時は数千万年の間、外界と隔離された暗黒と迷宮の世界、そんな世界があっ

たのかと恐怖に似た感覚におそわれました。いつ行っても、あぶくま洞は我々の生活している社会にはない、貴重な存在であり、いつまでもこのままの形で残して欲しいと思います。

あぶくま洞を後にして、石川町の猫暗温泉に行きました。ここにも私は何十年前に行きました。ところが、当時は湯治客相手の旅館が一軒あつたにすぎませんでしたが、今回行って驚いたことに豪華な大旅館に変わっていました。

この土地は歌人和泉式部の伝承の多い土地で、私は詳しくは知りませんが、ロマンの地として好きな所です。

翌日は白河の南湖公園に行きました。南湖公園は白河城主松平定信公がかんがい用水として造成した湖であり、今は国の史跡、県立自然公園に指定され那須連峰を眺望し、景勝の土地として盛えています。南湖神社を参拝し、あたりを散策して帰路につきました。

私は旅が好きで、旅にはロマンがあり、このロマンを追うことを知らない人は旅の良さを知らないと言われている方もいると思います。観光ばかりが旅ではなく、たとえ短い旅であっても旅は私の友です。

電気教室に

参加して

吉田英夫

電気のエネルギーは光や力及び熱として利用され、石油と共に我々人間が現在文化生活を営む原動力となっています。私共の周辺にも日常生活に欠くことのない電気製品が数えきれない程沢山あり、今日程電気之恩恵を受けている時代は過去にたく、電気のない暮らしなどとても考えられません。たまたま、平成元年度町民学校で電気教室が開講されると聞き、早速受講の申し込みをしました。

この電気教室は六月二十八日から十月十一日までの六回コース



▲毎日の生活に役立つ電気教室

すで、九月六日の四回までは毎回午前九時半から午前十一時半までの二時間の学習。最終回は東京電力第一原子力発電所を見学する予定になっています。講師は東北電力桑折サービセンタリーの斎藤所長さんと職員の方々と、並びに七宝焼やパン作りをご指導下さった先生。受講生は二十五名です。

さて、初回は開講式に続き斎藤所長さんから東北電力と地域の人々との触れ合いの中でサービセンタリーと改称された経過や平成元年四月から電気料金が引き下げられたこと及び原子力発電所ではどんな小さなトラブルでも発電を中止し、原因を徹底的に究明している等のご挨拶があったから「電気でロマンのある我が家」と「染と織」と言うビデオを見て頂きました。

その後発電所の種類や発電から一般家庭に電力が供給されるまでの経路・配電盤についての基礎知識等の講義がありました。

二回目は七月十九日で照明や電気料金の計算・電気の良い時の注意事項及び電気製品に付いているマークの種類等を学習してからコードをプラグに結線する方法について実習しました。三回目は八月二十三日で八百八十度

の電気炉で珪那を焼き付け、七宝焼のブローチを作る趣味の講座で皆非常に楽しそうでした。四回目は九月六日べンダントに引き続く七宝焼の実習でペンダントや帯留め・ルーブタイ・タイピン等様々な物を作り、焼き上がる神秘的な変化に驚嘆の音が上がり、一人で三つや四つ作った人もありました。五回目は十月四日でパン作りの実習でした。マヨネーズロールとバターロールのふくらとしたパンの匂いが調理室一杯に広がり、全部出来上がったのは午後一時過ぎで、それから焼きだてのパンを夫々賞味し閉講式を迎えました。

私共はこの電気教室で学習した電気に関する知識を今後の生活に有効に活用して行きたいと考えております。

最後となりましたがこの電気教室でご指導下さいました諸先生並びに企画とお世話を頂いた公民館長さんをはじめ職員の方々には厚く御礼申し上げます。

青年学級 研修旅行に

参加して

谷地 芳典

青年学級待望の研修が九月二十三日、一泊で行われました。

僕は学級に入ってもう三年目になりますが、年間行事に入っているこの研修旅行に参加するのは初めての事でした。出発する前に公民館長さんの方から、「何か一つでもいいから、つかんできてください」と挨拶があり、自分でもそろそろいなあと思いながらバスは、出発しました。目的地は、男鹿半島です。

まず僕達が強い感動をうけたのは、八郎潟を一望できる寒風山という所でした。頂上に登って見下ろした時は、本当に来てよかったという気持ちでした。

次に、男鹿水族館を見てから、もう日も西に傾きはじめて、入道崎に着きました。そこは、日本海の水平線を広く見わたせる事ができ、真赤な太陽が、海を照らす光景は、今でも目に焼きついていきます。

宿泊場所は男鹿桜島荘という所でした。バスの中で疲れを見せていた学級生もガラツと元気に、みんな夜が更けるまで、騒いでいました。おかげで二日目のバスの中といえは、静かな事、ちょうどいい位なんですよ。帰りに小岩井農場に寄り、帰路につきました。

かなりの独行軍ではありましたが、気の合う仲間達との旅行とあって、とても楽しいものと

なりました。この旅行を通じて、友達をもつ事の大切さを知ったような気がします。

スポーツ

だより

◇第二十四回国見町、桑折町青少年育成剣道大会

とき 十月二十二日

午前八時三十分

ところ 国見町々民体育館

対象者

(団体戦)

小学生低学年の部(二、三年)

小学生高学年の部(四、六年)

中学生男子の部

中学生女子の部

(個人戦)

小学生 一、二年の部

小学生 三、四年の部

小学生 五、六年の部

中学生男子の部

中学生女子の部

◇第十三回町内一周駅伝競走大会

とき 十一月十二日(日)

午前九時(小雨決行)

ところ 町内一周

対象者 中学生の部

一般の部

職業、職域の部

詳細についての問い合わせは、公民館まで。



「高齢者健康づくり教室」を開催

町と国見町健康づくり推進協議会が主催した「第三回高齢者健康づくり教室」は、九月十八日から二十日までの三日間、町民体育館で開催されました。福島市社会教育指導員の佐藤キイさんが講師を務め、延べ百四十人が受講したこの教室では、座りながらできる簡単な体操や、柔軟体操、数え歌に合わせての



▲はい、背筋をのばして♪

リズム体操などを行いました。また、フォークダンスや社交ダンスなどもあり、受講者の皆さんは楽しみながら快い汗を流しました。

敬老会で長寿を祝う

国見町敬老会が九月十二日、町民体育館で開かれました。この日招待されたお年寄りは、七十歳以上の一、二七一人。町長あいさつのもと、今年八十八歳を迎えられた十七人に長寿写真、八十歳を迎えられた七十五人に寿座布団が富永町長から一人一人に贈られました。



▲米寿を迎えられた方に長寿写真を贈呈

いちゃん、おばあちゃん、大枝小三年の井由香子さんが「元氣になったおじいちゃん」と題し、それぞれ作文を発表。このあと、会食しながら、各地区婦人会の方々の唄や踊りを鑑賞しました。

若い者には

まだまだ負けん!

国見町に住む運転免許をもつ高齢者でつくる「国見町シルバーク交通安全推進隊」の、原付バイク安全運転競技大会が九月十九日、桑折町の県北自動車教習所で開催されました。



▲難しいコースもご覧のとおり

競技会は藤田勝隊隊長、関根桑折警察署長の「運転技術を高めると同時に、交通法規の再チェックをお願いします」とのあいさつを「合図」にスタート。スラローム、一本橋走行、8の字転換などのテクニックポイントが組み込まれた一周四〇〇mのコースに挑む隊員は、雨にもかかわらず見事なハンドルさばきをみせていました。

この日「紅一点」の吉田はるいさんも一本橋走行を成功させるなど鮮やかな運転技術を披露しました。桑折警察署の小谷津交通係長らが交通ルールを守っているかどうか審査した結果、佐藤市郎さん(第一)が優勝。

入賞者は次のとおりでした。
二位 八巻敏美さん(錦町)
三位 吉田正雄さん(第四)

安全運転で

お願いします

町交通対策協議会では、秋の全国交通安全運動初日の九月二十一日、県境貝田地内の国道四号線沿いでテント村作戦を実施しました。

交通安全部会、母の会などの関係者約四十名が参加して、富永町長、藤原桑折警察署次長が

「県内では死亡事故が多発しておりますが、当町では今年五月以来めだつた事故も発生しておらず、この作戦を通して死亡事故ゼロを延ばしていきたい」とあいさつしました。

参加者の皆さんは通行する車両を止めて、花の種やチラシなどをドライバーに配り、安全運転を呼びかけました。



▲「お気をつけて」とドライバーに呼びかける富永町長

編集日記

○天高く馬肥ゆる秋。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。でも、今年の国見はちょっと違い、イベントの秋を迎える。奥州合戦八百年祭もいよいよ今月の29日に迫り、メインイベントの武者行列が町内を練り歩く。秋空のもと「馬駆ける秋」皆さん、ぜひお出かけください。快晴に恵まれますように。(K)